

世田谷の元気な産業が見えてくる

TAKE FREE

せたがや エコノミックス

No.53

SETAGAYA ECONOmix

令和元年(2019年)12月15日

特集

卵の殻をリユースした商品を開発 日本エムテクス 株式会社

TOPICS

第53回世田谷区産業表彰式・
第13回世田谷区男女共同参画先進事業者表彰式を開催しました
確定申告書作成会場開設のお知らせ
「新春経済講演会」のご案内

世田谷
いいとこ、
見つけた

卵の殻をリユースした 商品を開発 日本エムテクス株式会社

卵殻が持つ機能を建材に活用

食卓で日常的に目にする卵。その殻にはガス交換のための約1万個もの小さな穴があり、通気はもちろん余分な湿気を吸収し臭いも吸着させるメカニズムがあるのをご存知でしょうか？ 駒沢に本社を構える日本エムテクス株式会社は、そんな卵の殻を活用した様々な商品を開発しています。

「もともとは家族経営の工務店だった」という同社。業務中に様々な建材を目にするなか、「もっと良いものができるはず」と考え、建材メーカーへと事業を変更。しかし、最初の4～5年は特長ある商品が生みだせず厳しい状況が続いたといいます。そんな状況から脱却するきっかけとなったのが卵殻を使った建材開発です。

粉状にした卵の殻と漆喰を混ぜた塗り壁材「卵漆喰^{たまごしっくい}」を皮切りに、塗料やタイル、壁紙などに卵殻を活用した建材を次々とリリース。いずれも卵殻がもつ吸湿性や消臭効果が活かされているうえ、天然素材の建材はシックハウス症候群などの健康被害の低減が見込めることもあり、多くのユーザーの支持を獲得。右肩あがり売り上げを伸ばし続けているヒット商品になっています。



素材や工具がお洒落にレイアウトされた雑貨屋のようなショールーム



用途にあわせて様々な粒径を用意しているという卵殻の粉末



アートではありません。東京卵日和のバスマット「UFUFU(ウフウフ)」です



企業のOEM商品として使われることも多いという「卵のコースター」



テーマパークにあるような小屋は卵漆喰を使った施工例(駒沢ショールーム見学可)



「卵殻活用事業に誇りをもっている」という代表取締役の三浦征也さん

資源循環型社会の推進に貢献

環境にやさしい取組みもポイントのひとつ。材料となる殻はすべてマヨネーズの製造過程で発生する卵の殻をリユースしており、キューピー株式会社がおこなう環境への取組みの一環としても機能しています。そのため、キューピーの工場見学者通路の一部には、日本エムテクスのエッグウォールが使用されています。また、これから世界が目指す資源循環型社会の推進にも合致するため、TV・雑誌などメディアに取り上げられることや、環境問題に敏感な企業からの発注も増えています。

「僕たちが頑張れば環境が良くなるので、社会に貢献できている実感があります」という三浦社長は、建材だけではアプローチできない人たちにも卵殻素材の良さを知ってもらうため、約5年前から雑貨ブランド「東京卵日和^{とうきょうたまごひより}」を展開。すると、こちらもエンドユーザーだけでなく企業とのOEM契約も多いブランドになっているといいます。環境への意識がさらに高まるであろうこれから、人にも環境にもやさしい日本エムテクスの商品はますます広がりを見せそうです。

日本エムテクス株式会社
駒沢2-16-18 ロックダムコート3階
TEL:03-5433-3450
<https://nmtecs.jp>